

第3 沿革、施設の概況、建物配置図、職員配置

1 沿革

(1) 県央産業技術専門校

本校は、県の組織再編に伴い、県内に設置されていた5校（宇都宮、今市、真岡、氏家、烏山）を統合し、平成8年4月1日に開校しました。

平成08年04月 宇都宮、今市、真岡、氏家、烏山の5校を統合、現在地に県央高等産業技術学校を開校
（普通課程本科：機械技術科・制御システム科・自動車工学科・建築設計科・設備システム科）
（普通課程高等コース：金属加工科・機械加工科・電気工学科・アパレル技術科・木造建築科）
（短期課程：施設内訓練・委託訓練・受託訓練・向上訓練）

平成22年04月 県央産業技術専門校に改称、県北校県南校を支所とする（現在の訓練科となる）
（参考）

■旧宇都宮高等産業技術学校

昭和20年11月 宇都宮職業補導所（建設科）を設置（S22.11 竹細工、刺しゅう科新設）（S23.12 廃止）
昭和24年01月 旧河内町岡本に岡本公共職業補導所（ラジオ組立科）を設置
昭和25年01月 宇都宮市西原町に移転、宇都宮公共職業補導所に改称（S25 謄写印刷、経理事務科新設）（S26 ラジオ組立科廃止）
昭和26年12月 中戸祭町に移転、機械科を新設（S27 鍛造科、縫製科新設）（S28 鍛造科廃止）（S31.1 溶接科新設）
昭和33年07月 職業訓練法の施行に伴い、宇都宮職業訓練所に改称（洋裁科、事務科（訓練科再編））
昭和41年04月 平出工業団地に移転、中央職業訓練所に改称
（左官科、配管科新設）（S42 建築製図科新設）（S43 機械科、機械製図科新設）
昭和44年10月 職業訓練法の改正に伴い、中央専修職業訓練校に改称（S46 訓練科名変更）
昭和47年04月 中央高等職業訓練校に改称、訓練課程変更
昭和56年04月 宇都宮高等産業技術学校に改称
（機械製図科廃止、機械科、電子機器科新設）（S57 経理事務科新設）（S59 左官科廃止）
平成05年04月 職業能力開発促進法の改正に伴い、訓練課程変更（洋裁科（中卒・高卒））
（機械加工科、配管科（中卒））（機械技術科、電子機器科、配管科、建築設計科、OA事務科（高卒））
平成08年03月 統合により廃止

■旧今市高等産業技術学校

昭和20年11月 今市職業補導所（木工科）を設置
昭和22年11月 今市公共職業補導所に改称
昭和33年07月 職業訓練法の施行に伴い、今市職業訓練所に改称（S40.4 電工科、仕上科新設）
昭和44年10月 職業訓練法の改正に伴い、今市専修職業訓練校に改称（訓練科名変更）
昭和51年04月 今市高等職業訓練校に改称、訓練課程変更
昭和56年04月 今市高等産業技術学校に改称
平成05年04月 職業能力開発促進法の改正に伴い、訓練課程変更（機械加工科、電気機器科、木工科（中卒））
平成08年03月 統合により廃止

■旧真岡高等産業技術学校

昭和36年04月 真岡職業訓練所（機械科、電子機器組立科）を設置
昭和44年10月 職業訓練法の改正に伴い、真岡専修職業訓練校に改称（訓練科名変更）（S47 台町に移転）（S48 板金科新設）
昭和51年04月 真岡高等職業訓練校に改称、訓練課程変更
昭和56年04月 真岡高等産業技術学校に改称、電子機器科廃止（S57.4 洋裁科新設）
平成05年04月 職業能力開発促進法の改正に伴い、訓練課程変更（機械加工科、板金科、洋裁科（中卒））
平成08年03月 統合により廃止

■旧氏家高等産業技術学校

昭和39年04月 氏家職業訓練所（板金科、溶接科）を設置（S40 電工科新設、S41 自動車整備科新設）
昭和44年10月 職業訓練法の改正に伴い、氏家専修職業訓練校に改称（訓練科名変更）
昭和48年04月 氏家高等職業訓練校に改称、訓練課程変更
昭和50年04月 氏家高等産業技術学校に改称
昭和56年04月 氏家高等産業技術学校に改称
平成05年04月 職業能力開発促進法の改正に伴い、訓練課程変更（板金科（中卒））（電気工学科、自動車整備科（高卒））
平成08年03月 統合により廃止

■旧烏山高等産業技術学校

昭和21年11月 烏山職業補導所（建築科、木工科）を設置
昭和22年12月 烏山公共職業補導所に改称（S26.4 木工科廃止）
昭和33年07月 職業訓練法の施行に伴い、烏山職業訓練所に改称（S33.4 鋸目立科新設（S36 製材機械科に改称））
昭和43年04月 烏山町滝に移転、仕上科新設
昭和44年10月 職業訓練法の改正に伴い、烏山専修職業訓練校に改称（訓練科名変更）
昭和54年04月 烏山高等職業訓練校に改称、高等訓練課程（高卒者対象）の開始（建築科）
昭和56年04月 烏山高等産業技術学校に改称
平成05年04月 職業能力開発促進法の改正に伴い、訓練課程変更（機械加工科、木造建築科（中卒））
平成08年03月 統合により廃止

(2) 県北産業技術専門校

昭和 37 年 04 月	旧黒磯町に <u>那須職業訓練所</u> （仕上科、電気機器修理科（S42 電気機器科に改称））を設置
昭和 38 年 04 月	<u>大田原支所</u> を統合（木工科移設）（S44 ミシン縫製科新設）
昭和 44 年 10 月	職業訓練法の改正に伴い、 <u>那須専修職業訓練校</u> に改称（訓練科名変更）
昭和 54 年 04 月	<u>那須高等職業訓練校</u> に改称
昭和 56 年 04 月	<u>那須高等産業技術学校</u> に改称、訓練課程変更（S61 建築科、洋裁科廃止）
平成 05 年 04 月	<u>職業能力開発促進法の改正</u> に伴い、訓練課程変更（機械加工科、電気機器科（中卒））
平成 12 年 04 月	<u>県北高等産業技術学校</u> を開校 （普通課程本科：生産エンジニア科・通信エンジニア科・サービスエキスパート科） （短期課程：施設内訓練・委託訓練・向上訓練）
平成 22 年 04 月	<u>県北産業技術専門校</u> に改称、 <u>県央産業技術専門校</u> の支所となる（現在の訓練科となる）

（参考）

■旧大田原職業訓練所

昭和 21 年 10 月	大田原市に <u>大田原職業補導所</u> （木工科）を設置
昭和 22 年 12 月	<u>大田原公共職業補導所</u> に改称（S26.6 大田原市新屋敷に移転）
昭和 33 年 07 月	職業訓練法の施行に伴い、 <u>大田原職業訓練所</u> に改称
昭和 37 年 04 月	<u>那須職業訓練所</u> の設置に伴い、 <u>那須職業訓練所大田原支所</u> となる
昭和 38 年 03 月	統合により廃止

(3) 県南産業技術専門校

平成 03 年 04 月	栃木、県南の 2 校を統合、 <u>県南高等産業技術学校</u> を開校 （機械科、溶接科（中卒））（電気設備技術科、ファッションデザイン科、情報ビジネス科（高卒））
平成 05 年 04 月	職業能力開発促進法の改正に伴い、訓練課程変更（機械加工科、金属加工科（中卒）） （電気設備技術科、ファッションデザイン科、OA システム科（高卒））
平成 14 年 04 月	金属加工科、ファッションデザイン科、OA システム科を短期課程とする（訓練科名変更） （普通課程本科：機械システム科・電気システム科） （短期課程：施設内訓練・委託訓練・向上訓練）
平成 22 年 04 月	<u>県南産業技術専門校</u> に改称、 <u>県央産業技術専門校</u> の支所となる（現在の訓練科となる）

（参考）

■旧栃木高等産業技術学校

昭和 34 年 04 月	<u>栃木職業訓練所</u> （機械科、溶接科）を設置（S40.4 仕上科、電気機器科新設）
昭和 44 年 10 月	職業訓練法の改正に伴い、 <u>栃木専修職業訓練校</u> に改称（訓練科名変更）
昭和 54 年 04 月	<u>栃木高等職業訓練校</u> に改称
昭和 56 年 04 月	<u>栃木高等産業技術学校</u> に改称、訓練課程変更
平成 03 年 03 月	統合により廃止

■旧県南高等産業技術学校

昭和 20 年 11 月	<u>足利補導所</u> （大工科）を設置（S21.6 鹿沼に移転）
昭和 21 年 11 月	<u>足利公共職業補導所</u> に改称、洋裁科を新設（S23.8 足利市西宮町に移転）
昭和 33 年 07 月	職業訓練法の施行に伴い、 <u>足利職業訓練所</u> に改称（S35.4 ミシン縫製科に科名変更）
昭和 38 年 04 月	足利市多田木町に移転、機械科、電子機器組立科新設（S39 板金科、自動車整備科新設）
昭和 44 年 10 月	職業訓練法の改正に伴い、 <u>県南専修職業訓練校</u> に改称（訓練科名変更）（S51 電子機器科廃止）
昭和 53 年 04 月	<u>県南高等職業訓練校</u> に改称、訓練課程変更
昭和 56 年 04 月	<u>県南高等産業技術学校</u> に改称（H2 自動車整備科廃止）
平成 03 年 03 月	統合により廃止

※ 訓練科の名称は、主に新規学卒者等を対象とした訓練課程について記載しました。